



TITLE:

あとがき

AUTHOR(S):

---

CITATION:

あとがき. 東南アジア研究 1966, 4(3): 636-636

ISSUE DATE:

1966-12

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/55251>

RIGHT:

## 10 関係者往来

氏 名	出 発	帰 国	行 先
森 山 徐 一 郎 (京大・工・教授)	41.10. 2	41.10.16	タイ, マレーシア, シンガポール
赤 井 重 恭 (京大・農・教授)	41.10.16	41.11.14	タイ, マレーシア, フィリピン, 香港, シンガポール
小 野 尊 睦 (京大・医・助教授)		41.10.18	タイ, インド, セイロン, 台湾
天 野 義 彦 (京大・医・助手)		41.10.18	タイ, 台湾
貴 島 恒 夫 (京大・木研・教授)	41.10.26	41.11.24	タイ, マレーシア, シンガポール, ブルネイ, 香港
木 島 正 夫 (京大・薬・教授)	41.10.31	41.11.14	タイ, マレーシア, シンガポール
飯 島 茂 (京大・東南ア研・助手)		41.11. 7	タイ, ビルマ, イギリス, アメリカ
笠 原 嘉 (京大・医・講師)	41.11.15	41.12.17	タイ, 香港, 台湾
川 口 桂 三 郎 (京大・農・教授)	41.11.23		フィリピン, パキスタン, ビルマ, カンボジア, 香港
久 馬 一 剛 (京大・農・助手)	41.11.23		〃
石 井 米 雄 (京大・東南ア研・助教授)		41.12. 8	タイ
佐 川 弥之助 (京大・結研・講師)	41.12.12		タイ

## あ と が き

現在の入札方法では、本誌は各号ごとに印刷所が変わる。そのため、ふなれな印刷所との交渉で、双方ともたいへん苦労したが、とにかく予定どおり本号を年内に仕上げる事ができた。

本誌の実質的価値は現地調査にある。フィールド・ワークの進捗につれて、本号の内容がいよいよ充実してきたことを、嬉しく思う。

なお、本号では、東南アジア研究センターの関係者がいかに、電源開発株式会社松居正治氏のカンボジア農業調査にもとづく玉稿をえた。謝意を表するしだいである。

(編集委員記)

## 執 筆 者 紹 介

森 口 兼 二	京大・教育・助教授	赤 井 重 恭	京大・農・教授
西 田 龍 雄	京大・文・助教授	水 野 浩 一	京大・東南ア研・研修員
坪 内 良 博	京大・東南ア研・助手	神 谷 不 二	大阪市大・法・教授
本 岡 武	京大・東南ア研・教授	飯 沼 二 郎	京大・人文研・助教授
松 居 正 治	電源開発(株) 海外技術協力部 農業コンサルタント	山 口 真 一	京大・防災研・教授
上 田 弘 一 郎	京都産業大・教授 京大・名誉教授	口 羽 益 生	竜谷大・文・助教授
小 林 達 治	京大・農・助手	高 坂 正 堯	京大・法・助教授
高 橋 英 一	京大・農・教授	高 木 太 郎	神戸大・教育・教授
藤 吉 慈 海	花園大・仏教・教授	矢 野 暢	大阪外大・講師
		桂 満 希 郎	タマサート大・講師
		前 田 成 文	京大・大学院・文学研究科